

2016年9月7日
花王株式会社

花王小田原事業場「ビューティリサーチ&イノベーションセンター」について

「ビューティリサーチ&イノベーションセンター」設立の背景

昨今、日本国内では健康意識の高まりやアクティブシニアの増加が著しく、海外では、新興国で中間所得層の増大にともなう美への関心が高まる傾向にあるなど、化粧品を取り巻く環境が大きく変化しています。花王グループは、より高いレベルの「美」の提案をめざすとともに、「安全・安心」を強化していくために、カネボウ、ソフィーナを支える研究部門、生産部門を一体化させ、グループ資産の最大活用を図り、化粧品事業の強化を進めています。

生産部門については、2014年7月に、製造新会社「花王コスメプロダクツ小田原株式会社」を設立し、花王グループの化粧品の基幹工場として各製品を生産しています。2015年7月には、工場の建屋を増設するなど、生産能力を強化しました。日本国内はもとより、成長市場であるアジア市場をはじめとする海外への対応を加速しています。

研究部門については、2013年8月より順次一体化を進めてきました。このたびの「ビューティリサーチ&イノベーションセンター」では、花王グループの化粧品に関する研究機能を小田原事業場に集結させ、新しい美の価値提案をめざして、科学と感性を融合させた革新的な研究にも取り組みます。また、花王グループの製品開発の原点である「消費者起点」に立ち返り、お客さまの生の声を収集できる設備、家庭で実際に使用される際の化粧行動や使用後の効果・仕上がり具合を客観的に評価できる設備なども設置しています。



「ビューティリサーチ&イノベーションセンター」概要

- ・ 所在地： 神奈川県小田原市寿町5-3-28
花王株式会社 小田原事業場内
- ・ 構造規模： 鉄骨 地上4階建て
- ・ 延床面積： 16,594.3㎡

■「ビューティリサーチ&イノベーションセンター」の特長

① 部門間のコミュニケーションを活性させる建屋構造



「ビューティリサーチ&イノベーションセンター」では、研究員が仕切りのない大きな空間のフロアに集結します。また、フロア間を結ぶ内階段には出入口部にドアを設置していません。これにより、研究員同士が活発に情報交換やコミュニケーションを行ないやすくなっています。花王グループ内の研究資産の共有を活性させて研究・開発力を強化するとともに、部門間での相互理解を深めて個々のブランド力の強化と独自性の深化を図っていきます。

② 日本国内企業の研究拠点として初めて「fMRI」を導入



国内企業の研究拠点では初めて、「fMRI(機能的磁気共鳴画像装置: functional Magnetic Resonance Imaging)」を導入しました。感情や情動、意思決定などの脳活動を非侵襲かつ精緻に解析することが可能になります。fMRIをはじめとする最先端の測定機器によって得られた脳機能に関する基盤研究の成果をもとに、「化粧品」がもつ感性価値の解明や創造を行ない、新たな化粧品の製品開発につなげていきます。

③ 感性領域の多様な価値をわかりやすく体験し、可視化できる研究スペース「こころラボ」



「こころラボ」は、化粧品における感性領域の基盤研究、及び製品開発を目的に、美しさを“こころ”で感じて、新たな美の可能性を広げる研究スペースです。新たな感性価値の創出に向け、人の感性を研究するだけでなく、化粧品開発に携わる研究員の「インスピレーションの源」、「感性を洗練化する場」として位置づけ、研究開発活動を強化していきます。

「こころラボ」では、「化粧品行動をする際に生まれる美しい所作」、「自然界に存在する美しい色や質感」、「個々の美しさをさらに深める香り」など、化粧品における“美”と“感性”といった言葉では説明が難しい多様な価値を各コンテンツを通して体感し、「美と向き合い、美を創り、美を深める」ことで、化粧品という行為の奥深さや個々の持つ美しさの可能性を発見することができます。研究員、商品開発担当者、美容部員は、ここで得られた知見を、新たな美の創造に活かすことで、豊かな世界観を有する化粧品やサービスをお客さまに提供していきます。

※「こころラボ」の名称の由来: 「美しさを“こころ”で感じて、新たな美の可能性を広げるラボスペース」